

「世界一重い梨」として、2011年ギネス世界記録に認定！

第25回ジャンボ梨コンテストを開きます

優勝した梨は同日のセリで取引します！



ＪＡあいち豊田梨部会（部会長：梅村長史）は11月6日（木）、豊田市特産の梨「愛宕（あたご）」の出荷開始に合わせ、「ジャンボ梨コンテスト」を豊田市公設地方卸売市場で開きます。今年で25回目を迎えます。

コンテストは、日ごろから高品質な梨作りを目指す部会員が「愛宕」の重量を競うことで生産技術の向上を図るとともに、来季に向け一層生産意欲を高めることを目的に毎年開いています。例年は約3kgのジャンボ梨が多数並びます。また、優勝した梨はコンテスト終了後に同市場で初セリにかけられます。昨年は17点出品され、2.628kg、胴回り55.3cmの梨が優勝しました。33万円で取引されました。

最近では核家族化が進み、消費者の需要に応じて小ぶりの「愛宕」を中心に生産していますが、部会員はコンテストの優勝に向けて、通常の出荷基準に比べより大きな「愛宕」を生産しようと春先からの農作業に力をいれており、昨年同様に大きな梨の出品が期待されます。

当日の表彰式には、豊田市太田稔彦市長と同ＪＡ石川尚人代表理事組合長も参加する予定です。

「愛宕」は、ＪＡ選果場直売所やグリーンセンターなどの産直施設のほかＪＡネットショップ「MEKIKI」でも販売します。

【取材日時】

日時：2025年11月6日（木）

午前5:45 ジャンボ梨コンテスト

午前6:15 コンテスト表彰式

午前6:35 入賞品のセリ開始

場所：豊田市公設地方卸売市場 青果棟（豊田市高崎町兼近70）

各賞：愛知県知事賞、豊田市長賞、ＪＡあいち豊田組合長賞、
愛知県果樹振興会長賞 他2賞

審査：梨の重量で順位を決めます。

重量が同じ場合は、胴回りのサイズが大きいものを上位の賞とします。



▲当日はコンテスト受賞者の撮影と取材ができます（昨年の様子）

<「愛宕」について>

「愛宕」は果肉が柔らかく、甘みと酸味が調和したみずみずしい梨。通常サイズでも約1kgあります。非常に日持ちが良いのが特徴で、贈答品としても人気です。

<令和7年 ＪＡあいち豊田梨部会 概要>

栽培農家は豊田市猿投地区、上郷地区の34戸、栽培面積は21.6ヘクタール。出荷量は、全品種で315トンの出荷予定。栽培品種は幸水・あきづき・愛宕など8品種を栽培しています。

<お問い合わせ先>

ＪＡあいち豊田 営農生活部 猿投営農センター 選果場 担当：伊藤（平日8:30～17:30）
〒470-0373 豊田市四郷町森前南26番地4 電話（0565）46-2217

または、広報課 電話：（0565）31-2361 E-mail：k.koho@toyota.aichi-ja.or.jp

※取材を希望される方は上記ＪＡ選果場と豊田市公設地方卸売市場【電話（0565）33-3421】へご連絡をお願いします。

